

市では、九州大学大学院 農学研究院附属昆虫科学・新産業創生研究センターと連携し、さまざまな取組を進めています。

昆虫をはじめとする身近な生きものと私たちの暮らしとの関わりを、九州大学の先生たちがわかりやすく説明します。

マダニに注意！



野山や公園、畑などの草地には、マダニという危険な生物が潜んでいます。マダニは吸血する小さな虫で、九州ではSFTS（重症熱性血小板減少症候群）や日本紅斑熱などの感染症を媒介します。特にSFTSは致死率が約27%と高く、刺されないことが最も重要な予防策です。

対策のポイントは3つあります。1つ目は虫よけ剤の使用です。ディートやイカリジンを含む製品を衣服（特に足元）にしっかり吹きかけて使用しましょう。2つ目はピンセットの携帯です。マダニは皮膚に強く付着するため、咬み付いているのを見つけたらピンセットで根元からつかんで引き抜くと除去できます。3つ目は危険性を意識する

ことです。マダニは痛みがなく気づきにくいいため、野外活動後は体をよく確認しましょう。万が一体調不良で受診する際は、マダニに刺された可能性を医師に伝えることが早期診断につながります。咬まれないように虫除け剤を使い、咬まれたらすぐ除去し、心配になったらすぐ病院に行きましょう。マダニにはご注意ください！



研究者プロフィール

ふじた りょうすけ
藤田 龍介



- 九州大学大学院農学研究院 衛生昆虫学研究室
- 専門分野：衛生昆虫学、ウイルス学等、虫が媒介する感染症に関する研究